

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

～ 自分自身を振り返る ～

1. これまでの仕事を振り返る

- ・ 経営改善・再生業務に関わり始めて約 10 年が経過
- ・ 10 年前に初めて関わった案件で感じた「虚しさ」、「実力不足」に対する、悔しさが、結果的に長くこの業務に関わりを持つきっかけになっている。
- ・ ただ、その間に、自分自身の考え方にも変化が生じている。

1. スキル面について

- ・ 当初、必ず正解があると思っていた。最適な改善策の提示こそがプロの仕事で、そこに達していない自分に対し、激しく未熟さを痛感。
- ・ 現在、唯一絶対の答えはない。支援者として最善の努力・親身さは重要であるが、いかにお客さま自身が納得感をもって自分事として実行するかが重要で、支援者はそれに対しどんな働きかけができるかが価値と感じている。

2. 構造面について

- ・ 当初、個々の中小企業への支援が、間接的に地域・街の再生・活性化に貢献すると思っていた。
- ・ 現在、少子高齢化、人口減少等、中小企業 1 社単独でできることには限界。とはいえ、中小企業 1 社の事業継続が、その町的生活インフラの持続性に繋がる重要課題のケースもあり。
- ・ 中小企業支援は、地域・街の再生・活性化と足並みを揃えたものであることが必要
- ・ また支援者も、複数の関係者の協調体制がより重要

2. 今後、必要と感ずること

スキル面について

- ・ 答えがない時代だからこそ、経営者に寄り添う真のパートナーになりたい。
- ・ 自分自身が、「経営コンサルタント」と呼べる存在であるか、日々内省をしたい。

構造面について

- ・ みらいコンサルティングとしてはプラットフォーム事業の立ち上げに向け動き出している。
- ・ 再生・経営改善という局面においても、(個人としても)何ができるか考え、貢献をしたい。